

銀杏坂

～ 輝く薩摩中央 ～

令和2年7月9日(木) 南日本新聞

本校の3年生が町のものづくり企業を見学した記事が、南日本新聞に掲載されましたので紹介します。

地元で働く魅力知って



シラスを加工した製品の説明を受ける生徒
Ⅱさつま町時吉の井川産業R&Dセンター

さつま・薩摩中央高 3年生、事業所を見学

さつま町の製造業16社や町でつくる「町ものづくり企業振興会」は2日、薩摩中央高校の3年生を対象に企業見学会を開いた。生徒31人が3班に分かれて2社ずつ訪問し、事業内容や商品の魅力について説明を受けた。

地元への就職率を高め、労働人口流出に歯止めを掛けようと、昨年に続き2回目の開催。同校は町内唯一の高校で、前年度就職した生徒で地元に残った割合は27・1%だった。

町内に3工場を持つ井川産業のR&DセンターⅡ時吉Ⅱには7人が訪ねた。シラスから製造する洗顔石けんなどに使われる素材や、高品質化に向けた取り組みについて紹介があった。

生物生産科の左近允規泰さんは「地元の企業のことあまり知らなかったので勉強になった」。井川猛志社長(45)は「募集しても新卒者はなかなか来てくれない。今後も情報発信していきたい」と話した。(右田雄)